

輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上~川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合 本所業務部企画課主任

林 浩之さん

富山県西部森林組合の本所業務部企画課の職員として勤めの林浩之さん（42才）をご紹介します。



はやし
林 ひろゆき
浩之さん

創する事故なども経験し、伐倒作業の恐ろしさも身をもって経験されました。

その後、正職員としての勧誘があり、冬季の収入が安定することもあり、就職を決意して今に至ります。

職員として採用されてからは作業班など現場作業を指示・指導する立場となられたわけですが、やはり作業班員としての経験が豊富にあることから、現場で働く方々の作業がスムーズに進むよう、「現場第一」の信念で仕事をしているとのことです。

3 仕事と心境の変化

南砺市内の実家は森林を所有しており、小さいころから山菜取りの場所などとして慣れ親しんでいたことが、森林組合に就職してからは、森林の見え方が変わったといわれます。森林を見ると、これまで人がどう関わってきたかや、理想的な保育の方法などが思い浮かぶようになりました。そしてこれを繰り返すうちに、森林に関する仕事は子や孫など次世代につながる息の長い大事な仕事なのだということを強く感じるようになったそうです。

「現場第一」での信念を今後も持ち続け、若手にも伝えていきたいという林さん。今後ますます活躍されることを期待しています。

1 現在の職場に勤務するきっかけ

関東の大学を卒業後、県外の大手製造業の営業職を数年務めておられましたが、スノーボードが好きで自然とふれあう職につきたいという思いから、25才のころ今の森林組合に作業班員（森林従業員）として転職。富山県林業カレッジ長期研修最後の修了生として大型林業機械の免許を取得するなど、約10年の経験を経て伐倒をはじめとする素材生産作業分野が得意なべテランに成長されました。しかし決して順風満帆というわけでもなく、自身がエンジンで切

2 現在の業務

令和5年度からは森林組合本所に異動となり、森林經營計画の作成、伐採・作業道開設に係る保安林の許可申請・届出書の作成のほか、伐採等の際に必要となる登記上の森林所有者の確認などが主な業務です。

現場から一軒、デスクワーク主体の職務となり、わからないことが多く戸惑いはあるのですが、一方で、航空レーザ測量による微地形表現図など、机上で現場の下調べを行うことができる情報も増えてきており、最新の技術をうまく活用していくそうです。



高性能林業機械の説明をする林さん(右端)

文責 研波農林振興センター林政・普及班